

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年3月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691300018
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム はまんだ
所在地	鹿児島県西之表市西之表6602番地1 (電話) 0997 (23) 3992
自己評価作成日	令和2年12月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年2月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の皆さんが普通の家庭で過ごしているのと同じように感じられるように、施設感を出さないように支援しています。
入居前に普通にしていたことが、入居後も普通にできるようにスタッフ及びご家族・関係者と協力をしながら支援しています。外出したいときには、積極的に外出支援をしたり、どこか行きたいという要望があったときにも、なるべく希望に添えるように支援しています。
墓参りなどの希望があるときも職員やご家族と一緒に出掛け、お墓の掃除をしたりしています。
また看取り状態の方への支援も職員一同で確認し、ご家族の気持ちも尊重しながら、面会支援、宿泊支援などもやってきました。
しかし今年度は新型コロナウイルスの関係で、面会が出来る時間が少なくなったり、状況によっては面会が出来ないという状況もありましたが、オンライン面会なども利用して、入居者とご家族との関係性が途切れない様に支援してきました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は運営母体が社会福祉法人であり、法人内の診療所・訪問看護の協力を得て、24時間の医療連携体制が築かれており、月2回の往診及び週1回の訪問看護による健康管理が行われ、本人・家族・職員の安心となっている。
- ・自治会に加入している。地域行事への参加は自粛している。家族との面会は、オンラインや窓越し面会等を工夫し、毎月事業所新聞で近況報告をするなど、家族との関係が途切れないように取り組んでいる。
- ・利用者が可能な限り入居前の生活をできるように支援している。ドライブでの外出も積極的に取り組んでいる。
- ・看取り介護については、診療所・訪問看護の協力で家族の意向に沿ったチームの支援を行い、家族の面会は防護服着用を始めとするコロナ感染対策を採った上で実施し、家族が納得できる看取り介護に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	今まで過ごしてきた家庭と同じように過ごせるように理念を掲げて、入居者が笑って暮らせるような支援が出来るように職員全員で共有して支援に繋がっています。	見直した理念をホールや玄関等に掲示している。ミーティング時に唱和し、理念を共有すると共にケアを振り返って実践に繋がっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域行事などに積極的に参加できるように支援してきましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で地域行事に参加できなかったり、地域行事自体が中止になることが多く実現が難しかった。	自治会に加入しているが、今年度はコロナの影響で行事が中止になっている。青壮年会との協力体制を築くことができ、必要時は軽トラックを借りたり、地域とのつながり続けることができている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所として認知症の理解を地域の人に発信していくという機会を設けることが出来ず、地域行事などの参加もできませんでした。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の代表者の方々も運営推進会議に参加していただき、事業所の活動報告など行ったり、地域の行事の日程などを伺って参加するように支援してきました。</p> <p>※今年度はコロナウィルス関連で行事に参加することが出来ませんでした。</p>	<p>6月までは書面会議で、8月から市の協力を得て市役所会議室でコロナ対策を行いながら開催している。ヒヤリハットを含めた事業所の状況報告と意見交換を実施している。市の行事情報を得たり、コロナの影響下での地域交流の継続についての協議を行い、今後の参考にしている。</p>		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の介護保険担当者と連絡を取りながら協力関係を築けていけてます。運営推進会議も今年はコロナの関係で、開催場所を変更したり市の担当者と連絡を取りながら行いました。</p>	<p>市の担当者とは、日頃から電話等で連絡を密に取っており、運営推進会議も市の担当者の協力を得て開催している。市等の研修会には、法人で積極的に参加者を派遣している。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については、日頃から理解を深めるように会議等で話し合ったり意見交換をしたりしています。難しい入居者等に関してもどうすれば行動抑制しないで自分らしく生活できるかを職員一同で意見交換をしながら支援しています。</p>	<p>法人の委員会に参加したり、事業所でも勉強会を開催している。言葉の拘束についても話し合っている。日中、玄関の施錠はせずに外に出て行く利用者には、付き添って歩いたり自宅へのドライブ等で利用者の行動を制限しないケアに取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>法人全体で権利擁護・虐待防止の研修会を設けて、全職員が参加できるようにしています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>同じく法人全体で権利擁護・虐待防止の研修会を設けて、全職員が参加できるようにしています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、契約書を読み合わせて疑問点がないか確認しています。改定等があった場合は書面にてご家族に送付して説明をしています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族とは十分にコミュニケーションをとって、気軽に意見が言えるような関係性を築いていると思います。こうしてほしいという要望などがあれば運営に反映するようにしています。</p>	<p>利用者には、日々の暮らしの中で思いを聞いている。家族には、電話や面会時に要望等を聞いており、家族との信頼関係もできている。可能な限り、排泄用品を再検討して改善した事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営に関しては、定期的を開催するミーティングなどで職員に尋ねたりしています。またいつでも提案してこれるような関係性を築いています。	管理者は、日頃から話しやすい雰囲気作りに努めている。毎月のミーティング時に職員の意見等を聞く機会も設けている。職員からの意見も活発で、物品購入についての意見が多くある。入居者のストレス軽減に、外出支援の提案などもあり、反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の自己評価を通して、上司評価を加え職員の努力や実績が分かるようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体での研修や老施協などが行う研修に参加できるようにしていますが、今年度はコロナウィルスの影響で中止になったりしたのも出たようです。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在、同業者と交流を持つことをしていません。今後コロナウィルスの状況を見ながら同業者との交流も考えて行きたいと思えます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前・入居時にご家族や本人の状況を伺ってどんな状態かを把握するようにしています。また入居後にご本人がどのような希望があるのかを察してスタッフと共有しながら関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前、入居時にご家族とも十分に話し合い、要望等を伺っています。要望などに耳を傾けて、ご家族も安心できるような関係性を作るように努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービスの利用はグループホームの特性上難しいですが、他の社会資源などを含めた支援（例えば地域の老人会などを利用する等）をしていけるよう努力しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活する者同士のような関係を築けていると思います。介護者が優位に立つような関係ではなく、同じ目線に立った支援を心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族ともよく連絡を取り合い気軽に支援について話し合えるような関係性を築いていけるよう努力しています。ご家族と共に考えながら支援してきています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所など、本人が行きたい場所などあれば、希望を伺いながらその場所に行ったり、友人知人に会えるように支援しています。	家族とのオンラインや窓越しの面会を行い、電話や事業所の新聞で近況報告を行ない、家族との関係が途切れないよう支援に努めている。本人の希望で、墓参りやドライブに出かけ、自宅に立ち寄ることもある。馴染みの美容室に行ったりして、今までの関係性を継続している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係性・個々の性格などを踏まえて利用者同士が関われるような環境を作ることを努力しています。しかし孤立してしまう入居者も出てしまうのも事実です。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても関係性が途切れないように努力しています。サービス終了しても電話連絡などしてその後の状況を伺ったり、こちらのその後を話したりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いや意向を考え日々の支援をしています。言葉に表現できない方に対しては本人の希望を本人の立場で考えて支援出来るようにしています。	本人の希望に沿った支援を心がけ、生活歴も大切にし、趣味を活かす等、職員間でも個々の思いを聞き出すようにしている。表出困難な利用者には、家族からの意向を取り入れて支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の生活歴や環境、性格などを把握して支援するように努めています。入居前の状況等の把握にも努めて、支援に生かしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者ひとりひとりの個性や心身の状態を把握し支援の仕方を個人個人に合わせて行っています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の状況等をスタッフ及び関係職で共有して、支援の仕方を考えケアプランに反映しています。	本人・家族・職員・看護師等の多職種からの意見を取り入れ、担当者会議で検討して介護計画を作成している。モニタリングを毎月実施し、必要時には随時、見直し現状に即した介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や心身の状態などを記録して職員間で共有し、支援の仕方を考えたりしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存サービスだけにとらわれない柔軟な対応を心掛けています。本人だけにとどまらずご家族のニーズにも柔軟に対応出来ていると思います。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を活用していきたいと考えていましたが、今年度はコロナウィルスの影響もあり、ホーム外での資源を活用することがあまりできませんでした。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を聞きながら受診対応をしています。かかりつけ医のみにとどまらず、地域の各専門医などの医療機関も受けられるように支援しています。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。診療所医師の往診を月2回実施。訪問看護も24時間体制で連絡を取ることができる。他科受診は必要時に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	全ての職員が、個々の状態を把握して、訪問看護師に状態の報告を行ったり、状態を伝えアドバイスを貰い適切な対応ができるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者が入院する場合は、洗濯や着替えを届けたりする支援を行ったり、退院の調整を担当者と相談したりしています。その際はご家族の意向も伺って退院支援をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に関しては、早い時期にその意向をご家族に伺っています。その際十分に看取りに関して理解を頂いています。ご家族同士の話合いで意向が変更した場合も対応しています。	契約時に重度化・終末期に対する説明を行い、状態変化時には必ず家族の意向を確認し、意向に沿って支援に取り組んでいる。今年度も看取り介護の事例があり、県外家族の面会は防護服等のコロナ対策を行って実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時にはすぐに対応できるように法人全体で定期的に研修を行っています。事故が起こった際の連絡体制なども整えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、昼と夜の状況を考慮した火災避難訓練を行っています。津波や水害についても避難訓練をする予定ですが、今年度はまだ出来ていません。</p>	<p>年2回昼夜想定での避難訓練を、今年度は職員のみで実施している。台風の際は、系列の特別養護老人ホームに避難している。青壮年会の協力体制ができている。非常用の備蓄は、水・カップラーメン・缶詰・レトルト食品等がある。その他は法人で確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々のプライバシーを意識して、居室に訪問する際もノックなどをして訪室するようにしています。また排泄時にもプライバシーを尊重しています。	誇りやプライバシーを損ねないよう、訪室時の声掛けやノックをしている。さん付けでの呼び名、排泄ケア時はドアを閉める等の対応に努めている。失禁時はさりげなく声かけを行うようにしている。排泄時、風呂、脱衣時などはプライバシーに配慮し、人格の尊重を大切にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者が自己決定できるように支援しています。入居者の意思を尊重して、行動の意思決定を尊重しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者が思い思いのペースで過ごせるように、極力、職員の業務上の都合を排除するようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	おしゃれ等出来る入居者に対しては、その人が好きなおしゃれが出来るように一緒に化粧品の買い物に行ったりして支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は、簡単な皮むきなどをしていただき、片付けを一緒にしたりしています。時にはおやつと一緒に作ったりすることもあります。	利用者の希望の献立を取り入れて、下ごしらえや片付け・おやつクッキー作り等を一緒に行っている。季節の行事食を提供し、季節感を感じながら幅広い食事を楽しめるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養・水分摂取が難しくなってきた入居者に対しても栄養補助食品などで補助したり、水分摂取の介助などをして補うことをしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来る人には声掛けして歯磨きをしてもらい、出来ない方には補助をしたり、ガーゼ口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	なるべくトイレでの排泄が続けられるように支援しています。どうしても一人介助では出来ない夜間帯などは、おむつ交換をしています。極力トイレでの排泄を続けていけるように支援しています。	排泄パターンを把握し、トイレ誘導を支援している。オムツ使用の場合も日中はトイレでの排泄支援を行っている。昼夜とも可能な限りトイレでの排泄を全職員で取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘がちになった場合の入居者に関しては乳製品を摂ってもらい排泄がしやすいように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴は希望があればいつでも入れるように職員全員が理解し取り組んでいます。夜間も入れるように支援しています。</p>	<p>入浴は週2回を基本にしているが、希望があればいつでも入浴できるように対応している。嫌がる場合は、無理強いせずに声かけを工夫したり、タイミングを見て支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>いつでもゆっくり休めるように支援しています。一人になって休みたい場合は自室で休んだりみんなの居る所で休みたい場合はソファで休んだりしています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の効果を理解し、症状が変化する場合はすぐに訪問看護師や主治医・担当医師と相談し、薬の変更や中止をしたりすることもあります。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎日とはいかないこともあるが、楽しみを持って生活できるように支援しています。それぞれの嗜好品も理解し、楽しめるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出の希望があれば、出掛けられるように支援しています。どこに行きたいという希望は現在あまり無いのですが、外に出掛けたいという希望がよくあり、それを全職員が理解し支援しています。	日常的に近所や敷地内の散歩をしている。花見やドライブにも出かけている。外出の希望があれば、特別養護老人ホームの車で弁当持参のドライブをしたり、墓参りや美容室にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数名の入居者の方がご自分でお金を所持をしています。管理も本人管理でしており、ご家族にも協力してもらっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙のやり取りは出来ませんが、電話は出来ています。いつでも電話できるように支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は居心地がいいように配慮しています。季節感を出すために季節のお花を飾ったり、壁などにイベントごとのものを貼ったりしています。	ホールは、換気を十分に行い、エアコンで室温度等を適度に調節している。日当たりが良く好みの場所でくつろげるようソファ等を設置している。作品や飾り付けで季節を感じてもらえるよう工夫している。皆で寛げる空間が確保できている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居場所は工夫しており、ソファの位置を2か所用意して、独りになりたいという方には自室以外にも独りになれる場所を作ったりしています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはご自宅から今まで使っていた家具などを持って来てもらったりしています。それが出来ない方もいらっしゃいますが、その場合は居心地が良い空間になるように工夫しています。</p>	<p>洗面台とエアコンが居室に設置している。本人の使い慣れた物や必要によって、ベッド・タンス・ハンガーラック・テレビ・仏壇・寝具・遺影・家族の写真等を持ち込んで、安心して過ごせるよう家具の配置も工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>出来るだけ自立した生活が送れるように支援しています。特別何がある訳ではないですが、一人一人が安全に思い思いに過ごせるようになっていると思います。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		●	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	●	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	●	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		●	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		●	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	●	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	●	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		●	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		●	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	●	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	●	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	●	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	●	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない